

倉橋町の概要（総論）

1 町の変遷

- 1989（明治22）年 安芸郡倉橋島村成立
- 1952（昭和27）年 安芸郡倉橋町（町制施行）
- 2005（平成17）年 呉市と合併（編入）呉市倉橋町

2 町の位置

広島県最南端の瀬戸内海に浮かぶ倉橋島（※1）の中部及び南部（※2）
面積54.5平方キロ 周囲65キロ（ほとんど海岸線）

（※1）瀬戸内海では、淡路島、小豆島、屋代島（周防大島）、能美島
に続いて5番目の大きさ

（※2）島全体で69.5平方キロ、そのうち8割近くを占める
（残りは音戸町）

3 町の沿革（戦後）

（1）バス（公共交通）

- 1955（昭和30）年 本浦まで運行開始
- 1959（昭和34）年 室尾まで〃
- 1965（昭和40）年 鹿老渡まで〃

（2）橋

- 1961（昭和36）年 音戸の瀬戸へ「音戸大橋」本土と
- 1973（昭和48）年 「早瀬大橋」能美島と
- 1975（昭和50）年 「鹿島大橋」
- 2013（平成25）年 「第二音戸大橋」渋滞緩和

（3）小学校

- 戦後は、小学校数 14校（※3）
 - ・1968（昭和43）年「海越小学校」閉校
 - ・1981（昭和56）年「大迫小学校」閉校
 - ・1987（昭和62）年「大向小学校」閉校
 - ・1997（平成9）年「西宇土・重生・鹿老渡」3小学校閉校
 - ・1998（平成10）年「長谷小学校」閉校
 - ・2002（平成14）年「鹿島小学校」閉校
 - ・2003（平成15）年「須川小学校」閉校
 - ・2005（平成17）年「宇和木小学校」閉校
 - ・2013（平成25）年「倉橋・尾立・倉橋東」3小学校閉校
→『倉橋学園 倉橋小学校』へ統合

○現在は「明德」「倉橋」の2校

（※3）倉橋小学校横島分校（倉橋小学校に含む）

1950（昭和25）開校～1965（昭和40）年閉校

(4) 中学校

- 戦後は、中学校数 9校（分校5を含む）
 - ・1965（昭和40）年「倉橋西中学校横島分校」閉校
 - ・1970（昭和45）年「明德中学校重生分校」
「倉橋東中学校大迫分校」2校閉校
 - ・1974（昭和49）年「倉橋西中学校大向分校」閉校
 - ・1978（昭和53）年「倉橋西中学校須川分校」閉校
 - ・1987（昭和62）年「鹿島中学校」閉校
 - ・2013（平成25）年「倉橋西・倉橋東」2中学校閉校
→『倉橋学園 倉橋中学校』へ統合
- 現在は「明德」「倉橋」の2校

4 町の説明

- 気候は温暖であり、降水量も瀬戸内海としては多い。
- 瀬戸内海の島特有の急傾斜地のため（平坦地が少ない）入り江に面したわずかな平地に集落がある。
- 明治時代、北部の呉に「軍港」が設置されて、島全体は要塞化されそのため道路整備が遅れた。
- 町制時代は、町の木「ネズ」町の花「ヤマザクラ」町の鳥「ウグイス」
- 倉橋島村施行から合併までの116年間一度も合併行っていないため、大字は存在しないが、16の地区（浦名）が使われている。（※4）
⇒別紙『倉橋町の浦名（地区）』参照

https://www.city.kure.lg.jp/uploaded/life/42658_72756_misc.pdf

（※4）区（現在自治会）は23区

本浦は「才ノ木・松原・上河内・小林・石原」の5区

室尾は「室尾西・室尾東」の2区

鹿島は「鹿島上・鹿島中・鹿島下」の3区

5 町の現在

- (1) 世帯数と人口（平成30年3月現在）
2,933世帯 5,346人（男2,533人 女2,813人）
- (2) 郵便番号 737-1377
（かつて上記の区ごとに番号が異なっていたが現在統一）
- (3) 電話番号（市外局番）
0823-56-〇〇〇〇（北部）
53-〇〇〇〇（西部）
54-〇〇〇〇（東部）
- (4) 主要産業 農業と水産業
ミカン・大根・トマト／いりこ・牡蠣・チリメン 等